



発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036
代表TEL：(0567) 26-3921
FAX：(0567) 26-3922
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

問合わせ・見学 大歓迎！！
 <<利用状況 案内板 (★募集中★満員)>>
 ☆ナイス・ケア
 ☆ナイス・デイ (定員 10名)

日	月	火	水	木	金	土
5	5	7	5	6	6	6

 ☆ナイス・ホーム (定員 21名、現在登録者 19名)
 ☆愛宕の家 (定員 17名中入居者 16名)
 ☆つしま紹介所 (有料職業紹介)
 ☆ナイス・キッズ (学童保育・託児)

<<6月行事予定>>
 8日 あじさい祭り
 10日 外食デイ
 20日 避難訓練
 24日 誕生日会
 <<不定期行事>>
 天気や意欲等で状況判断し、外出先一覧を参考に社会生活に参加します。

<<教室案内>>
 ・和太鼓 月曜日(年間 35回)
 場所：愛西市川淵コミュニティ
 ・コーラス 水曜日(月 2回)
 場所：喫茶てのひら
 ※職員やキッズ達の趣味活動を兼ねて各教室を発足。地域の方々にも参加していただけます。
 各教室月謝制で、定員あり。
 詳細はお問い合わせ下さい。

遊びの中で・・・ / ナイス・キッズ
 梅雨の時期がやってきます。キッズたちは、雨の時でも室内に居ることなく、外で体を動かします。何故なら、利用者さんが雨でも車から玄関まで濡れずに移動が出来るように車寄せが広めに作ってある場所があるからです。この時期になると、子ども達の絶好の遊び場となり、自分たちなりに工夫をして遊び出します。いったい、どんな遊び方をするだろう？と見守っていました。小学1年生の三人娘達は、車寄せの壁をスルスルッと登っていき、上からの眺めを楽しんでいました。この光景は、何時の時代もよく目にしたな・・・、と今は中学生になる昔のキッズたちの姿を思い浮かべながらも、足を踏み外したら落ちこちるな・・・と、ハラハラドキドキのスタッフ。しかし、そこは本能で危険を察知したのか、「あたしも降りる！これ以上は怖い！」とちゃんとリスク回避ができていました。キッズたちが、自分で気付けるまで見守っているスタッフたちは、つい声をかけたくなるのを我慢して見守りに徹しているんです。“大人心、キッズ知らず”。「危ないよ！」と声をかけてしまうのは簡単ですが、自分で気付くことを待つことも大事なのかも思えないとも思えます。その見極めが難しいんですけどね・・・。(R・W)



洗濯を通して / ナイス・ケア
 週に1回、“共に行う家事と食事の配膳”というサービス内容で訪問させて頂いているAさん。下着の手洗いはできますが、洗濯機の使い方を忘れてみえるため、洗濯機を使っての洗濯ができません。訪問時はいつも、『朝、5時に起きて洗濯は済ませた』と、毎回答えが返ってきます。私たちは言われた事を肯定しつつ、気分を悪くされないように言葉を変えては、洗濯の声かけをします。しかし、上手いき洗濯が出来る時もあれば、そうでない時もあります。洗濯機さえ回せば、自分で干せるし、取り込みもできます。毎回、洗濯が出来る事で、Aさんが『自分で出来た』という充実感が持てるのではないかと考えています。そんな気持ちを持ってもらえる機会が増えるよう、どんな声かけなら受け入れてもらえるか、思考錯誤が続きます。(K・N)

S・O・Sの畑紹介
 S・O・Sでは食事に使う野菜の多くを畑で栽培しています。キャベツ、ブロッコリー、レタスなど、全て無農薬です。玉ねぎやジャガイモは、ほぼ年間通して使えるほどの栽培です。冬野菜の収穫を終え、今は夏野菜の植え付けで多忙です。社長の趣味と、実益を兼ねて採れた果実や野菜は利用者さんの手助けを得て、ジャムになったり、漬物になって、毎日の食事に提供されます。今はどくだみ茶をみんなで作っています。


 サラダ用のレタス


 ブロッコリー


 大量の玉ねぎ


 どくだみ干し


 ジャガイモ畑


 さつまいも畑

社内研修 / S・O・S
 社内研修の一環で『倫理と法令遵守』について社内研修の講師をする機会がありました。『法令遵守』とは言うまでもなく法律を守ること。介護保険法や虐待防止法など、様々な法令により、利用者さんの命や尊厳を守ります。では、『倫理』とは？簡単に言うと人間社会の中で生きていくのに守らなければならない決まり。例えば、何度も同じ事を言う認知症の利用者さんに素気ない態度をとってしまう、きつい言葉を口にしてしまう、排泄介助時にプライバシーの配慮が足りない・・・という事。『倫理観』を高く持つことが、サービスの質の高さにも繋がる。『倫理』とははっきりとした正解がなく、人によって解釈も違う事もあります。それは、事例を元にスタッフ間で話し合い、実情に合った『倫理』を作り出しても良いのではないかと考えています。
 介護の現場において、利用者さんの要望に対し、どのように関わるべきか迷う事もありますが、事業所として目指すサービスを常に念頭に置き、『倫理観』に照らし合わせながら、行動していけるような指導者でありたい。(H・A)



老いるということ / ナイス・デイ
 ナイス・デイは愛宕の家(有料老人ホーム)の利用者さんも利用してみえるため、デイ利用日以外の姿もみられます。5年前に出会ったBさんも愛宕の家からナイス・デイを利用してもらっている一人。健脚で弁もたっていたBさんも、紆余曲折を経て穏やかな今に至ります。こんな言葉を目にしたので紹介します。
老いるとは
 ・何度も同じ事を聞き、何度も同じ事を話す
 ・歩く事が遅くなるということ。膝や腰が常に痛いという事。
 ・食べる量が減ること。かむ力、飲み込む力が弱くなる事。
 ・トイレが近くなるという事。夜中に起きるという事。
 ・尿道も肛門もゆるむので、ふとした時に漏らすこと。
 ・それは言葉が出なくなってくるという事。
 ・精神面でも体力面でもどんどん衰えていく。
 今、Bさんもその道の途上です。私たちは、ただただみつめていかなくはならないわけではありません。いつか最期を迎えるその日が来るまで、その人らしく、人生を全うできるよう、しっかりと向き合って支援していきたい。(M・O)

6月8日(金)
 あじさい祭りに
 行ってきました。



在宅生活に向けて / ナイス・ホーム
 病気や怪我での入院で、退院後には、殆どの方が在宅復帰を希望されますが、家族の事情や、介護の点で、高齢者にはなかなか希望どおりは難しい状況が多々あります。そこで、小規模多機能型居宅介護の出番。通いと泊まりの連続利用で、24時間を通して、日常生活の動作を把握でき、在宅生活のどの部分に支援が必要なのか想定していきます。身体状況でどうしても自宅での生活が難しい場合ももちろんあると思います。でも、挑戦しないで諦めるのはもったいない。心残りもあると思います。入院期間が長ければ長いほど、以前のように在宅生活に復帰できるか不安が大きくなる、そんな気持ちを受け止めつつ、ご家族を始め、医療や福祉用具など、必要な機関と連携を取り、協力しながら、在宅復帰を目指したいと考えています。そのためにもスタッフの視野や想像力が問われ、日々悩み、格闘しています。(Y・O)

関わる時間 / 愛宕の家
 今まで何人もの入居者さんと関わらせていただきました。その中には、長きに渡って生活されている方もいれば、ほんのわずかなお付き合いの方もみえます。先日入居された方は、入院先の病院から入居された、とっても可愛らしい女性の方でした。しかし持病の痛みからなのか、時折苦しそうな声を上げてみえました。入居当初は、爪も伸びており、それで掻いたところから出血して、手も皮膚も血まみれになってみえました。訪問ヘルパーが、爪を切り、顔も拭き、きれいになられた数日後、亡くなられました。たった数日で何が出来たのだろうかと思う中、関係の方から「顔をきれいにしてもらって良かったです」という言葉をいただいたと聞き、本当に嬉しく思いました。
 入居の期間が長かろうが短かろうが、スタッフが誠心誠意関わらせていただいた事は伝わっているのだと改めて感じました。その思いを皆で共有しつつ、これからも入居者さんとの時間を有意義に過ごしていきたいと思えます。(K・T)

介護プロフェッショナルキャリア段位制度進行状況
 <<段位取得者>> 1~6期生 (12名)
 <<申請中>> 7期生 (1名)
 <<評価中>> 8期生 (4名)



<<編集後記>>梅雨に入りました。体調も不安定になりがちです。そんな時はビタミンB、や身体を温めるものを食べるといいらしいですよ。豚肉や魚介類、乳製品、卵、ねぎやしょうが、根菜類。そして、十分な睡眠と運動！暑い夏に向けて体調を整えていきましょう(Y・O)